

暮らしのひとコマ

デイ 便り



コロナも少し落ち着いてきたようですが、まだまだ油断は禁物。感染対策を徹底しています。

デイサービスわかばでは「さんまの大漁ゲーム」をしました。1対1で対戦、2mほど間隔を空け、うちわを使って魚（さんま）を獲ります。「本物のさんまみたい」「七輪で焼いたらおいしいな」などと言いながらゲームを楽しんでくれました。

今日も元気でがんばりましょう！

特養入居者様には、コミュニケーションが難しい方が少なくありません。けれど、思わぬ形で意思の疎通が図れることがあり、そういう時は、心がほっこりします。

Aさんはほぼベッドに寝たきり状態。言葉はほとんど発せず、食事、排泄は全介助、という方でした。入所当初、Aさんは私たちの言葉や行動は理解されていないのでは、とっていました。ある日、AさんのユニットにKさんという職員が他部署から応援にやってきました。Kさんは明るく、おしゃべりはする、歌は歌う、元気印の方でした。その様子を見てAさんがポツリと「にぎやかやなあ」とはっきり発語されたのでした。

その後も注意深く観察していると、髭剃りの時「鼻の下、ぷってしてみて」と言うと鼻下を膨らませて髭がそりやすいようにしてくれたり、入浴の時も介助しやすくように身体を動かそうと努力してくれている様子が伺えました。Aさんはちゃんと周りの人の言葉も状況も理解されているんだと思いました。

敬老の日特集



敬老の日御膳

敬老の日の抹茶レアケーキ

コロナ禍の中、行事はほとんど中止、外出、面会も思うようにできず、刺激が全くない状態です。

今後行動制限が緩和されイベントを日常的に楽しむ事ができるようになり、丁寧に働きかけていけば、もっと変化があるのではないかと期待しています。

(Y)

編集後記

十月に入り世間は子供たちの運動会で賑わう。はずだったのですが…このご時世のため中止という保育園、幼稚園、小学校が多いようです。しかし朗報です。中にはコロナ禍となって様々な対策も考えられています。規模を縮小しての開催や学年ごとに開催、ご家族をローテーションで見学など様々な工夫が施され実施されています。コロナに対して人間も学習を繰り返す、様々な対抗手段を企て実施しております。

この調子だと、来年には今年よりさらに開催できる学校が増え、徐々に盛大となることが期待できますね。

そもそも個人的に疑問に思ったのが、運動会は中止が多いのに、オリンピックやパラリンピックは開催できるのですね。(M)

